

令和2年度の学校評価のまとめ

昨年度の重点目標	基礎的・基本的な学力の確実な定着 基本的な生活習慣の確立 特色ある学校づくり 多忙化解消		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導 (教務部) (各学年会)	確かな学力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる授業」の実施 「学習強化期間」「居残り学習会」の設定 	教員のアンケートでは授業改善の取り組み具合は昨年より良くなっていますが、生徒・保護者のアンケートでは授業の理解度は微減となっています。基礎力診断テストを行い、教科検討会で基礎的な部分の学力が低下していることが分析されています。授業を理解できるように内容をなるべく噛み砕いて説明しますが基礎学力を向上させなければ難しいと考えています。
		<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立に向けた指導 課題設定・点検の工夫 学習意欲の向上に向けた指導 	学習強化期間に学習計画表で学習時間を集計して、努力した生徒を表彰したり、教務だよりを発刊したりして努力しましたがアンケートの学習時間は昨年と同様の時間で増えませんでした。アンケートによると教員の学習習慣の確立への意識は高くなっている結果となりました。教員のアプローチが実るように指導の工夫をしていきます。
進路指導 (進路指導部) (各学年会)	学年、進路希望に応じた進学就職ガイダンスなどを通して、進路意識の高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> 進路情報の提供 面接指導の重視 	進路指導への取り組みに関して、教員、保護者から概ね良好な評価をいただいておりますが、まだ周知が徹底できていません。進路情報の提供を強化し、進路指導方針への理解を深めてもらう努力をしていきます。就職は1次募集の内定率も良好で、就職指導の成果が出ていると感じます。今後も、この流れを継続させます。
		<ul style="list-style-type: none"> 就業体験 外部講師による講話の設定 	3年生を対象に行った消費者教育や着こなし講座など社会人としての素養を高める講話は必要だと感じます。1年生キャリア教育セミナーが実施できなかったのは残念ですが、出前講座や2年生インターンシップなど校外での体験的学習は進路ガイダンスとして効果的であり引き続き力を入れていきたいと考えています。
生徒指導 (生徒指導部) (各学年会)	基本的な生活習慣を確立させる	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導の実施 	「身だしなみ指導」「遅刻指導」がきちんと行われていますかの問いに対して84%の生徒がそう思うと答えています。割合からクラスに4人程度指導が必要な生徒がいることとなります。ピンポイントで継続的に指導をして90%を目標にしたい。
	規範意識や一般的マナーに対する意識を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> 交差点や駅での立番指導の実施 校外巡回指導の実施 コミュニケーション能力の育成 	「マナー」「モラル」に関しては基本的な知識が無いのではないかと思います。就職する生徒が多い中、指導の必要性を感じます。全職員が共通理解のもとで、一致団結した指導体制を確立していきたい。
生徒会活動 (生徒会部) (各学年会)	行事、部活動へ積極的に参加させ帰属意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な部顧問会議の実施 部日誌を活用した部員状況の把握 各行事における適切な指導ならびに生徒の積極性を促す体制の確立 	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の基準で実施することが困難であったために中止した闊歩大会、芸術鑑賞行事につきましては多くのご迷惑とご心配をかけました。次年度は感染症対策を講じた上で、安全に実施できることを心がけ再開します。具体的には芸術鑑賞の市民会館の利用、体育祭の体育館利用、闊歩大会の距離、コース、出発時間の見直しなどを予定しております。
PTA活動 (総務部) (各学年会)	保護者への確実な情報伝達を行う	<ul style="list-style-type: none"> 各種案内文書の工夫 メール配信 「廣表」/ホームページの充実 	案内文の配布とメール配信を同時に行うことで確実に情報伝達ができている。年3回の広報誌とホームページにより学校の状況を保護者および地域に公開できている。更にホームページの更新頻度を多くしていきたい。
	保護者へPTA関係行事への積極的な参加を促す	<ul style="list-style-type: none"> 各行事の形態の検討と内容の充実 ホームページの充実 	今年度は、コロナ感染症の影響でほとんどの行事が中止となり、活動ができなかった。活動内容については、学校配信メールやホームページを利用して、お伝えしていきたい。
学校保健活動 (保健相談部) (各学年会)	環境美化への意識を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備、環境美化の徹底 教室内に分別用の箱の設置 通学路・地域清掃活動の実施 	今年度は朝日連区クリーン作戦が中止となったが、勤労体験として校内の清掃活動を行った。環境について考えるよい機会であり、今後も取り組んでいく。校内の美化については、64.4%の生徒が努めていると答えており、美化についての意識の喚起が一定程度行えている。学校周辺をきれいにすることにより、環境美化の意識を喚起し、地域住民にも応援される生徒を育てたい。
	自らの健康に対する意識を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断の事後指導の徹底 「保健だより」による広報 教育相談との連携 	「保健だより」では新型コロナウイルス感染症に関する内容の他、健康について時期にあった内容を扱った。記事については保健委員の生徒も作成に参加して行き、関心を高めることができた。教育相談では、悩みを抱える生徒の相談にあたることができた。

いじめ防止 (いじめ・不登校対策委員会)	互いに認め合える人間関係をつくり、集団の一員としての自覚と自信を身につけさせる	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止に向けて教育相談アンケートの実施と情報把握 学年会と教育相談との連携 	年に2回教育相談アンケート、保健相談部での情報交換を密に行うなどしていじめ防止に向けての情報を把握している。そして、担任や学年の教員、スクールカウンセラーと協力して生徒間のトラブルに対応することができた。今後も協力して指導にあたる。
図書館活動 (図書部) (各学年会)	読書習慣を身につけさせ、豊かな人間性を育む	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の実施 購入希望図書の調査、選定 「図書館報」の発行 	朝の読書への積極的な参加について、80%以上の生徒が肯定的な回答をしています。一方、図書館を利用するという生徒は、15%程度にとどまっています。今後とも図書館資料の充実を図り、利用しやすい図書館づくりに努力していきたいと思えます。
研修 (教務部) (各教科会)	授業力・教師力のアップ	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業の実施 授業参観の奨励 教科検討会・教科会での情報共有 	今年も学習強化期間では活発な授業参観が行われ、授業力の向上が図られました。教科検討会を実施して学び直しについて話し合うことができました。アンケートでは上向きな結果となりました。来年度はICTの活用などの課題に取り組んでいきたいと思えます。
安全教育 (総務部) (各学年会)	災害に対する知識を深め防災減災に対する意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> 本校にあった防災計画の作成 市/連区と連携し避難場所設置についての運営計画を立てる 防災備蓄品の購入 防災(避難)訓練の実施 	生徒用の災害時備蓄食料を備えました。コロナ感染症のため防災避難訓練が中止となり、クラス担任からの防災対策指導を行った。家具の転倒防止など6割以上の家庭で十分な対策が取られていなかった。今後は、防災意識を高めるための指導を工夫していきたい。
多忙化解消	勤務時間を管理し、長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間の把握 業務の適正化 	昨年度、本校教員の80時間を越える在校時間は4.1%であったが、今年度も(11月末現在)は4.5%であり、さらなる改善が必要ではあるが、多忙化解消の意識が浸透しつつある。昨年度から取り組んでいる業務のスリム化や削減の効果が徐々に表れてきたと考えている。また今年度から、PTAのご理解をいただき、平日の電話対応時間を朝7時30分～夜7時と設定したことも教員の負担軽減に繋がっている。さらに一昨年度策定された部活動ガイドラインの指針により、年間の休養日を104日以上と設定することで、部顧問の負担軽減等を図っており、今のところ概ね守られている。
総合評価	新型コロナウイルス感染症の影響で進路や生徒会行事に大きな変更を余儀なくされ、アンケートでも様々な意見をいただきました。しかし、進路実績や部活動や行事へ取り組む生徒の様子などを見ると新型コロナウイルスに対応しながら何とかやれたと感じています。来年度は生徒のタブレット端末の利用や生徒数・教員数減などの大きな変化に対応しながらより良い教育活動が行えるように取り組んでいきます。		

学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる授業」の実践を推進し、生徒の学習意欲の高める取組について 基本的な生活習慣を確立させるための遅刻防止指導について
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に学習時間を記録させたことにより、学習習慣の確立に向けて教員の意識を高めることができた。 ほとんどの生徒が生活習慣を確立させているが、残りの生徒に少しずつ指導を続けたい。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> 来年度はタブレット端末を有効に活用して、学習習慣の確立に向けて取り組んでいきたい。 遅刻防止のために校門通過時刻の設定と声掛け、累積による遅刻指導などのピンポイントの指導を実施する。
学校関係者評価委員会の 構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> 構成・・・学校評議員5名とPTA役員3名 評価時期・・・2月上旬